

日本の歴史上、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から9年が経過しました。

震災により多くのかげがえのない人命と貴重な財産を失いましたが、これまでの復興まちづくりの取組や国内外の皆様からいただいた温かいご支援・励ましにより、復興完遂が近づいてきております。

被災者の方々の多くは新たな生活をスタートさせており、仮設住宅で生活している方はわずかとなりました。また、新たな観光施設の整備やイベント開催により、沿岸部への観光客が回復し、多くの方々が宮城県を訪れるようになりました。

一日も早く安全で安心した生活を取り戻し、活気溢れるまちづくりを目指して国や県、市町の職員のみならず、地域住民や企業が一体となって、復興の総仕上げに向けて取り組んでいるところです。

この度、これまで全国からいただいた支援に対する感謝の気持ちと引き続き我が県へ心を寄せていただく願いを込めて、現在の復興まちづくりの状況を紹介させていただくパネル展を開催することといたしました。このパネル展をご覧になられた一人でも多くの方が、復興に向け歩み続ける沿岸市町に足を運んでいただければ幸いです。

東日本大震災から9年、  
復興へと歩んできた「まち」を是非ご覧ください。

# 東日本大震災の概要

## ○東北地方太平洋沖地震

発生時刻：平成23年3月11日 14時46分頃

震源：三陸沖牡鹿半島の東南東約130km

震源深さ：約24km

最大震度：7，マグニチュード：9.0

津波高さ：8.6m以上（石巻市鮎川）（気象庁発表）

7.2m（仙台港）（気象庁発表）

※参考：津波最大遡上高（宮城県津波の痕跡調査結果）

南三陸町志津川 20.2m

南三陸町歌津 26.1m

女川町 34.7m

浸水面積／県土面積=327km<sup>2</sup>／7,286km<sup>2</sup>=4.5%

浸水人口／県人口=278千人／2,331千人=11.9%



死者（関連死を含む）10,566人

行方不明者1,219人

重傷502人

軽傷3,615人

宮城県内の約200人に1人が犠牲

全壊83,005棟

半壊155,130棟

一部損壊224,202棟

仮設住宅(みなし仮設含む)48,774戸 入居者数126,948人(最大)

宮城県内の約20人に1人が住む場所を失う

仮設住宅(みなし仮設のみ)9戸 入居者数13人(現在)

※令和2年7月末現在 仮設住宅の最大は平成24年3月末

# 地震発生

Occurrence of the earthquake



大崎市



岩沼市

# 津波襲来

Tsunami strikes

# 火災発生

Occurrence of fires



気仙沼市



気仙沼市

自然の驚異的な力  
ただ、見ていること  
しか出来なかった

The awesome power of  
nature and being able to do  
nothing but watch

# 津波の威力

## Power Of Tsunami



亙理町

すさまじい津波の威力により壊滅的な状態となりました。

しかし、震災から9年が過ぎ、新たな生活・新たなまちづくりがはじまっています。



仙台市



気仙沼市



石巻市

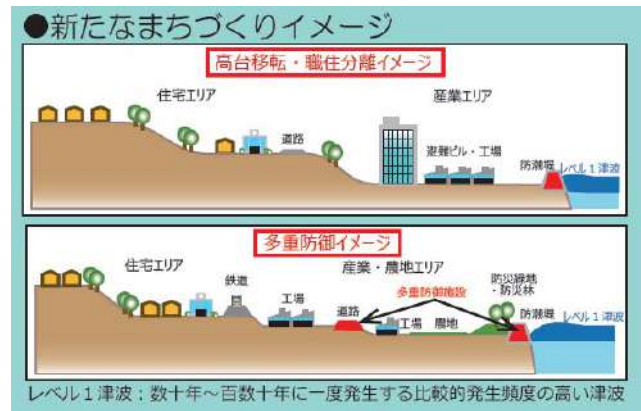


東松島市

# 災害に強いまちづくり 「宮城モデル」

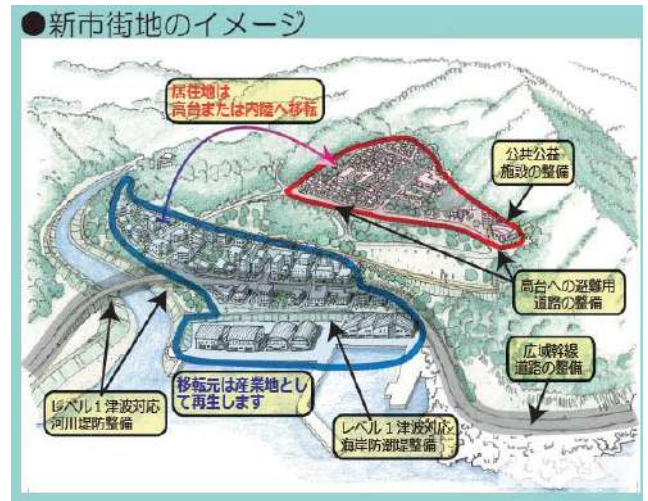
## ■地域の特性を踏まえた 新たなまちづくり

地域の特性を踏まえ、平地が少ない三陸リアス式海岸沿いの県北エリア（気仙沼市～石巻市北部）では高台移転・職住分離を基本とし、農作地帯で平地が広がる県南エリア（石巻市南部～山元町）では多重防御施設の整備により災害に強いまちづくりを進めています。



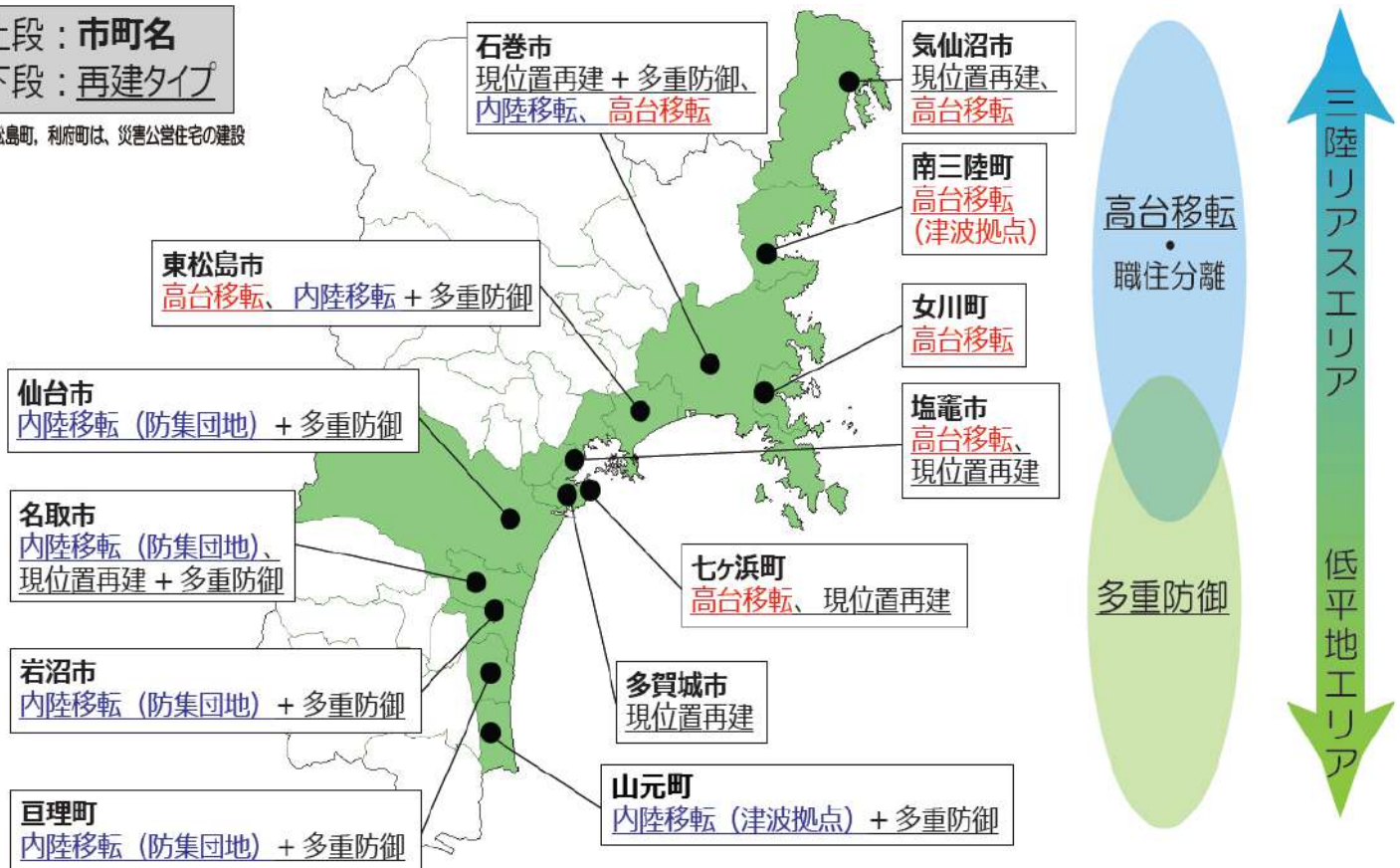
## ■新たなまちづくりの例

市街地を守るための施設（河川堤防・海岸防潮堤・高台への避難用道路等）を整備し、市街地は高台または内陸へ移転します。また、移転元地は産業用地として再生します。



## ■被災市町復興まちづくりのタイプ

上段：市町名  
下段：再建タイプ  
※松島町、利府町は、災害公営住宅の建設

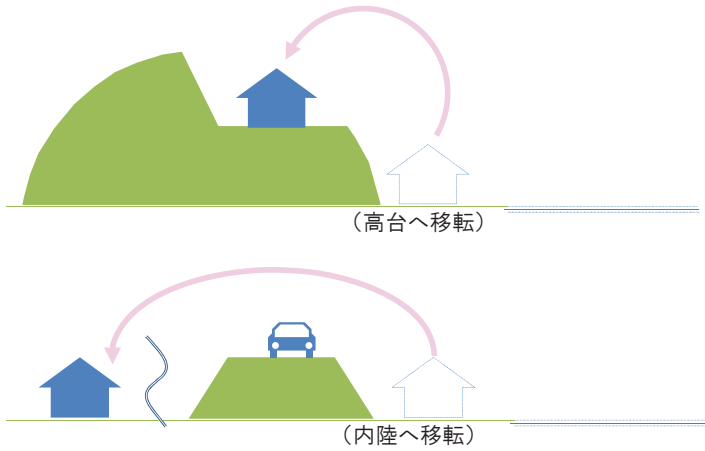


※内陸移転や現位置再建については必要に応じて嵩上げ工事を併せて行っていきます。

# 「宮城モデル」の実現に当たって

## 復興まちづくり事業の種類と進捗状況

### 防災集団移転促進事業



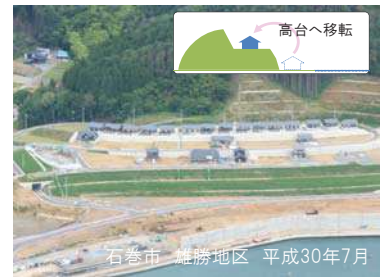
■危険なエリアから安全なエリアへ  
(高台へ移転 or 内陸へ移転)  
災害が発生した地域又は災害危険区域のうち、住民の居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団移転を促進します。

建築可能な地区の割合

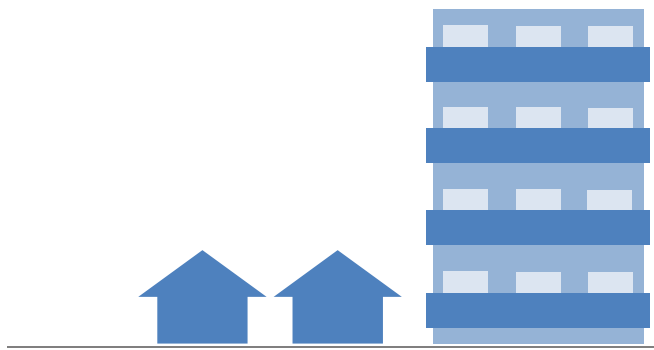
# 100%

平成31年1月末 完了

$\frac{195}{195}$  地区



### 災害公営住宅整備事業



■被災者の住居を安定確保  
地震による倒壊や津波による家屋の流出や浸水などにより、生活基盤となる住まいを失い、避難所や仮設住宅などでの生活を余儀なくされている方に対して、快適で安心できる良好な居住空間を備えた恒久的な住宅を早期かつ円滑に整備します。

工事が完了した戸数の割合

# 100%

平成31年3月末 完了

$\frac{15,823}{15,823}$  戸



### 被災市街地復興土地区画整理事業



■公共施設と宅地を一体的・総合的に整備  
(産業用地のみの整備 or 住宅用地も嵩上げて整備)  
防災上安全な宅地を確保する観点から、隣接する丘陵地と一体的に整備したり、必要に応じて津波に対する防災上必要な市街地の嵩上げ(盛土)を行います。

建築可能な地区の割合

# 100%

令和2年11月末現在

$\frac{35}{35}$  地区



# 2011

## 復旧期

Restration

2011. 3. 12 女川町



## 2011 3.11

## 東日本大震災 (M9.0 最大震度7)

- 2011. 3.14 県内避難者数が最大(約32万人)に
- 2011. 3.24 東北自動車道の全面通行止め解除
- 2011. 3.30 三陸自動車道が全面復旧
- 2011. 4. 8 建築基準法第84条第1項による建築制限
- 2011. 4.29 東北新幹線が全線復旧
- 2011. 7.25 仙台空港国内定期便が再開
- 2011. 9.12 被災市街地復興推進地域を指定
- 2011. 9.25 仙台空港ビルが完全復旧し、国際定期便(仙台-ソウル線)が再開
- 2011.12.11 県内のライフラインが全て復旧(津波流出地域を除く)
- 2011.10.18 「宮城県震災復興計画」を策定
- 2011.12.26 応急仮設住宅の整備が完了(2万2,095戸 406団地)
- 2011.12.30 県内の全避難所が閉鎖





# 復旧期

## Restration

2012-2014



南三陸町 仮設商店街「さんさん商店街」



巨理町 いちご団地



気仙沼市 大島架橋建設工事着工式



東松島市 矢本駅北地区



岩沼市 玉浦西地区まちづくり検討会

- 2012. 2.25 仮設商店街「南三陸さんさん商店街」オープン(南三陸町)
- 2012. 3. 2 復興交付金第1回交付可能額通知
- 2012. 3.11 東日本大震災から1年。各地で追悼式などが行われる
- 2012. 7.20 県内初の被災市街地復興土地区画整理事業「新蛇田地区」を認可(石巻市)
- 2012. 3.26 「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定「宮城県災害対策本部」を廃止
- 2012. 8. 5 県内初の防災集団移転促進事業の起工式「玉浦西地区」(岩沼市)
- 2012. 8.20 JR気仙沼線がバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市)
- 2013. 4. 1 県内初の災害公営住宅への入居開始(仙台市・石巻市・山元町)
- 2013. 3.25 「復興まちづくり事業カルテ」公表
- 2013. 6. 4 桜木地区災害公営住宅の起工式(多賀城市)
- 2013. 5.24 「三陸復興国立公園」を創設
- 2013. 6.20 県内初の防災集団移転促進事業の竣工「蒲生雑子袋地区」(仙台市)
- 2013. 9. 3 「いちご団地」が完成。生産者に引き渡される(巨理町)
- 2014. 2. 1 伊保石地区災害公営住宅への入居開始(塩竈市)
- 2014. 3.28 登米沢地区防災集団移転団地の竣工(気仙沼市)
- 2014. 6.29 三陸沿岸道路(仮称)気仙沼湾横断橋着工式(気仙沼市)
- 2014.10. 4 交流拠点施設「きずなぽーと“わたり”」がオープン(巨理町)
- 2014.11.13 ゆのき地区災害公営住宅への入居開始(利府町)
- 2014.11.15 大島架橋本体工事 着工式(気仙沼市)
- 2014.12. 6 常磐自動車道 県内区間全線開通
- 2014.11.14 東矢本駅北地区災害公営住宅が完成(東松島市)
- 2014.12.19 「まちなか再生計画」認定(認定第1号)(女川町)



2014.10 多賀城市 桜木地区災害公営住宅

# 再生期 Recovery



山元町 新市街地まちびらき



2015-2017

岩沼市 玉浦西地区まち開き



JR仙石線全線運行再開・仙石東北ライン開業



南三陸町 さんさん商店街が本設店舗でオープン

- 2015. 2.27 磯崎華園地区災害公営住宅完成（松島町）
- 2015. 3. 1 常磐自動車道 全線開通
- 2015. 3.21 おながわ復興まちびらき2015春 JR石巻線が全線運行再開
- 2015. 5.30 JR仙石線全線運行再開・仙石東北ライン開業

- 2015. 7.19 玉浦西地区まち開き（岩沼市）
- 2015.10. 4 美田園北地区まちびらき（名取市）
- 2015.11. 3 石巻市新市街地5地区まちびらき
- 2015.12.23 おながわ復興まちびらき2015冬

- 2016. 3.11 東日本大震災から5年。各地で追悼式などが行われる
- 2016. 3.26 JR仙石線石巻あゆみの駅開業
- 2016. 4.28 県内初津波被災地で応急仮設住宅（プレハブ住宅）の解消（岩沼市）
- 2016. 5.28 野蒜北部丘陵地区防災集団移転宅地引渡の開始（東松島市）

- 2016. 7.29 菖蒲田海水浴場が6年ぶりに海開き（七ヶ浜町）
- 2016.10.23 新市街地まちびらき（山元町）

- 2016.10.30 三陸沿岸道路「三滝堂IC～志津川IC間」開通
- 2016.11.20 野蒜北部丘陵地区防災集団移転宅地引渡の完了  
福幸まつり開催（東松島市）

- 2016.12.10 JR常磐線が（浜吉田駅～相馬駅）運行再開

- 2017. 3. 3 南三陸町さんさん商店街が本設店舗でオープン（南三陸町）
- 2017. 3.19 新門脇地区まちびらき（石巻市）
- 2017. 3.20 三陸道南三陸海岸IC開通
- 2017. 4.23 南三陸町伊里前復興商店街が本設店舗南三陸ハマレ歌津としてオープン（南三陸町）

- 2017. 4.29 石田沢防災センター開所（松島町）
- 2017. 5.28 気仙沼市が整備する災害公営住宅が全戸で入居開始（気仙沼市）
- 2017. 6.30 東松島市野蒜地区災害公営住宅が入居開始（東松島市）
- 2017. 6.30 いしのみき元気いちばオープン（石巻市）
- 2017. 7.15 サンオーレ袖浜オープン（海水浴場）（南三陸町）
- 2017. 8.26 東松島市野蒜地区災害公営住宅が全戸入居開始（東松島市）
- 2017. 9.30 山元町防災拠点・山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール」オープン（山元町）
- 2017.10.15 東松島市野蒜ヶ丘まちびらきまつり（東松島市）



女川町 まちびらき2015冬



東松島市 野蒜ヶ丘まちびらきまつり



気仙沼市  
内湾観光集客施設  
迎（ムカエル）オープン



名取市 閑上小中学校 開校

# 発展期

南三陸町 高齢者生活支援施設「結の里」オープン



石巻市 鮎川浜地区拠点 オープン



塩竈市 津波防災センター オープン

# 2018-2020



気仙沼市 大島地区大島ウェルカムターミナル オープン



名取市 震災メモリアル公園 オープン

- 2018. 1.20 大谷海岸地区復興事業着工式典開催（気仙沼市）
- 2018. 3.25 三陸道大谷海岸IC～気仙沼中央IC開通
- 2018. 3.29 宮ヶ崎住宅（3期28戸）完成（女川町災害公営住宅全戸完成）（女川町）
- 2018. 4. 1 石巻市防災集団移転促進事業 竣工式典（二子団地（河北地区）完成）（石巻市）
- 2018. 4. 7 閑上小中学校開校（名取市）
- 2018. 4.14 都市公園・鳥の海公園 開園式（亘理町）
- 2018. 4.27 高齢者支援施設「結の里」がオープン（南三陸町）
- 2018. 5.31 防災センター 開所（石巻市）
- 2018. 7.12 津波防災センター オープン（塩竈市）
- 2018.11.15 内湾観光集客施設迎（ムカエル）オープン（気仙沼市）
- 2018.12.8 災害公営住宅鍵引渡式（名取市災害公営住宅全戸完成）（名取市）
- 2018.12.19 駅前再開発による図書館・公民館等複合ビル完成（名取市）
- 2019. 2. 6 やまもと夢いちごの郷 オープン（山元町）
- 2019. 2.16 三陸道 歌津IC～小泉海岸IC, 本吉津谷IC～大谷海岸IC 開通
- 2019. 3.10 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 オープン（気仙沼市）
- 2019. 3.10 新西前沼第三復興住宅3号棟 完了式典（石巻市 災害公営住宅 全戸完成）
- 2019. 3.24 柳の目西 災害公営住宅 完成（東松島市 災害公営住宅 全戸完成）県内災害公営住宅 全戸完成
- 2019. 5.26 閑上地区まちびらき、震災メモリアル公園 オープン（名取市）
- 2019. 9.28 鹿折地区土地区画整理事業 竣工式（気仙沼市）
- 2019.10. 4 鮎川浜地区拠点 オープン（石巻市）
- 2019.12.17 震災復興祈念公園 一部開園（南三陸町）
- 2020. 3. 8 大島地区大島ウェルカムターミナル オープン（気仙沼市）
- 2020. 5.21 雄勝中心部地区拠点 オープン（石巻市）



石巻市 雄勝中心部地区拠点 オープン

To be Continued....

# 世界に羽ばたく 水産業のまちを 目指して

災害公営  
住宅  
整備事業

被災市街地復興土地区画整理事業

新しいまちづくり計画では、防潮堤を建設するとともに、盛土したところに工業・商業エリアと住宅エリアを分離させ配置することで、安全で快適な暮らしを送れるよう計画しています。

南気仙沼地区  
提供：一般社団法人東北地域づくり協会 令和2年10月



津波により火災発生



被災直後の状況

提供：一般社団法人東北地域づくり協会



南気仙沼地区土地区画整理事業竣工式  
令和元年9月



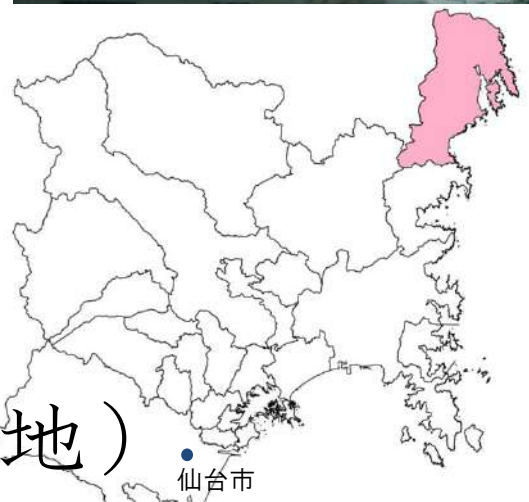
【従前の町並み】  
気仙沼港周辺に市街地部が集中していた南気仙沼地区では工場・商業・住宅等が混在していました。

提供：一般社団法人東北地域づくり協会 平成16年5月



生鮮カツオの水揚量は、24年連続日本一となっています。

カツオ水揚げの様子



仙台市

# 気仙沼市（市街地）



# 海と生きる

先人たちはこれまで何度も津波に襲われても、海の可能性を信じて再起を果たしてきた。  
いまを生きる世代が再び海の可能性を信じ、復興を成し遂げることが犠牲者への供養となり、次世代への希望となる。

※気仙沼市震災復興市民委員会の説明からの抜粋

令和2年5月



悲願の橋「気仙沼大島大橋」がついに供用開始されました  
平成31年4月



防災  
集団移転  
促進事業

梶ヶ浦地区 平成27年9月



仙台市



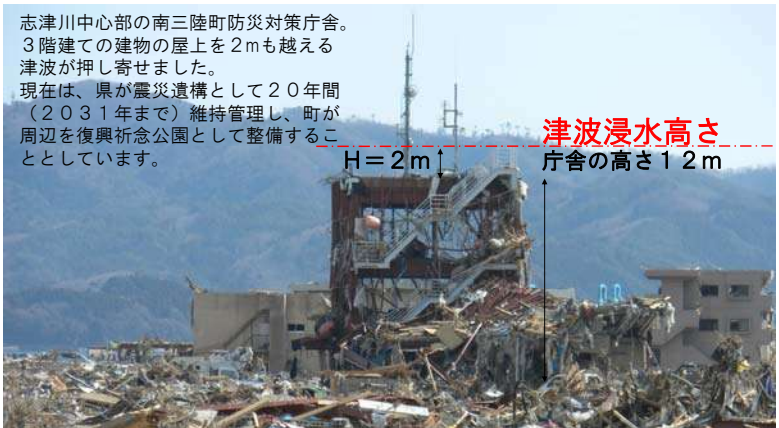
鮎立地区 平成23年3月  
提供：一般社団法人東日本大震災デジタルアーカイブス支援センター

# 気仙沼市(半島部)

# 安心して暮らし続けられるまちづくり

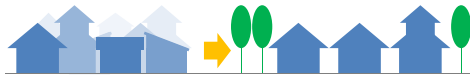


三陸地方は地震による津波が周期的に襲ってくる地域であるといえます。明治以降の100年余りの間に、明治三陸津波、昭和三陸津波、チリ地震津波など多数の死者や家屋の損壊が出るなど大きな被害を受けてきました。南三陸町は、今回の被災の経験を活かし、どのような災害に遭遇しても命が守られ、安全で安心して暮らし続けることができる町、集落及び地域社会を創造的に復興させます。



# 南三陸町

被災市街地復興と地区画整理事業



防災  
集団移転  
促進事業



災害公営  
住宅  
整備事業



市街地の安全の確保を第一に、多重防御による防災に強いまちづくりを目指します。また、被災地最大規模となる蛇田地区を代表に産業系合わせ15地区の区画整理事業により、市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻します。

令和2年10月

提供：一般社団法人東北地域づくり協会

# 活気のある新たなまちづくり



旧北上川の河口部では河川堤防と一体となったまちづくりが行われています。



写真提供：石巻市

新蛇田地区  
平成30年9月



被災直後の門脇地区  
平成23年3月

# 石巻市(市街地)



仙台市

# 豊かな自然と 伝統文化を活かしたまちづくり



居住と漁港の安全を確保し、地域拠点として、行政施設や医療福祉、教育施設を集約して整備するとともに、水産業の速やかな復旧と観光事業化を進め、恵まれた自然や歴史的資源を活かした地域づくりを目指します。

雄勝地区  
令和2年6月



約600年の歴史を持つ雄勝硯は、全国有数の生産量を誇ります。また、雄勝石の薄く割れる性質を生かした、全国でも珍しい共蓋付硯もあります。



## 石巻市 (半島部)



提供：一般社団法人東北地域づくり協会 平成24年11月



提供：一般社団法人東北地域づくり協会 平成15年8月



# 100年先を 見据えたまちづくり



「住み残る」「住み戻る」「住み来る」、「選択されるまち」女川へ。  
高台に移転しても、都市機能が集約されたコンパクトシティを目指す。

中心部  
令和2年10月  
提供：一般社団法人東北地域づくり協会



ハマテラスオープン  
平成28年12月



提供：一般社団法人東北地域づくり協会 震災後（平成23年3月）



提供：一般社団法人東北地域づくり協会 震災前（平成18年6月）

# JR 仙石線と

# 高台移転した 野蒜地区

新JR仙石線

旧JR仙石線

災害公営住宅整備事業

防災集団移転促進事業

被災市街地復興土地区画整理事業

野蒜地区は、特別名勝「松島」の一角を占める風光明媚な景観を保全しつつ、住民の安全・安心を守るために、被災した住宅をはじめ小中学校や郵便局、市民センター等の公共施設、JR仙石線すべてを新市街地として形成するため背後高台丘陵地へ移転し、再建をはたす地区です。

令和2年3月 野蒜地区  
提供：アジア航測（株）



平成28年11月 野蒜地区

災害公営住宅整備事業

防災集団移転促進事業

野蒜地区では宅地の引渡が全地区完了し、新たな生活がスタートしています。平成29年8月までに災害公営住宅も完成しました。



平成17年 野蒜地区



令和元年5月 野蒜地区



仙台市

あの日を忘れず ともに未来へ  
～東松島一心～

# 東松島市



平成29年6月 野蒜北部丘陵地区

# 景勝地の安全



今回の震災において、近隣市町が大規模な被害を受ける中、松島町は湾内の島々に助けられ、壊滅的な状態には至りませんでした。  
 また、震災の当日に松島町を訪れていた1,200人の観光客は、1人のけが人もなく、全員が無事に帰路につくことができました。  
 住民の安全・安心はもとより、今後も観光地・松島の自覚と責任を持ち、観光客の安全・安心の向上に向けた取り組みを進めることは、松島町の使命です。

松島湾を一望できる新たな憩いの場ができました  
 西行戻しの松公園避難所  
 平成27年9月



中心観光地  
 避難場所  
 西行戻しの松公園  
 避難所  
 避難場所



観光客で賑わう現在の様子  
 平成27年9月

# 松島町



仙台市

被災の状況



流された自動車が  
 道路上に点在している  
 中心部の国道45号



水が引かず、  
 生々しい痕跡を残す  
 観光地中心部

利府町では、沿岸部にある浜田・須賀地区が津波によって多くの家屋が浸水による被害を受けたほか、内陸部においても家屋の損壊や道路の陥没、さらには学校等公共施設の多くが損壊しています。

震災からの復旧はもとより、生活基盤と産業基盤の再建、さらには都市構造を再構築し、町民の安全、安心の確保と広域的な復興を支援し、「住んでよかった。住んでみたい。住み続けたい。」と言えるまちづくりを目指します。

# あす 未来へつなぐ 「絆」



災害公営  
住宅  
整備事業

ゆのき地区災害公営住宅  
平成26年11月入居

## 利府町



仙台市●



浜田地区避難路  
平成29年3月

避難場所・避難所や避難路などの防災機能の再構築と強化により、災害時における町民の安全・安心の確保を図っています。



防災備蓄倉庫を備えた浜田地区避難施設  
平成27年9月完成



被災の状況  
津波で流された船が国道45号を塞いでいる



須賀地区避難路  
平成30年2月

# 塩竈市



仙台市●



津波避難デッキが完成した  
港町地区



災害公営住宅用地や  
産業用地を整備する北浜地区



被災市街地復興土地画整理事業



復旧し賑わいを取り戻した魚市場



多くの海水浴客が訪れ、賑わいを取り戻した桂島海水浴場  
平成27年7月



津波に飲み込まれる魚市場の状況

# 復活

みなとまちの



塩竈市は、古くから天然の良港に恵まれ、漁港や港湾を活用し「みなとまち」として大きく発展してきました。しかし、発展の礎を担ってきた基幹産業である水産業や水産加工業をはじめ、港湾関連産業、商工業、観光業などは今回の震災によって大きな被害を受けており、その立て直しが急務となっています。地域に活力を取り戻すためにも、これらの市内産業の再生・復興を促進し、地域経済の活性化を図ります。



菫蒲田浜中田地区

防災  
集団移転  
促進事業



吉田浜台地区

防災  
集団移転  
促進事業



菫蒲田浜地区

災害公営  
住宅  
整備事業



花淵浜地区

災害公営  
住宅  
整備事業

「地域のきずな」を重視し、既存の地区内に高台移転団地や災害公営住宅を整備しています。

七ヶ浜町の豊かな自然環境の恩恵を十分に享受しつつ、復興まちづくり事業の推進による地域コミュニティの活性化やにぎわいの創出など、未来志向のまちづくりを推進し、「うみ・ひと・まち七ヶ浜」の再構築と再生に取り組みます。



自然と人が  
調和した  
住みやすい  
まちづくり

菫蒲田浜  
平成30年10月



笹山地区家並みワークショップの様子  
新しいまちづくりについて活発な意見交換が行われました。  
平成26年10月



防災  
集団移転  
促進事業

海を見おろす美しい町並みに  
着々と住宅が建築されています  
笹山地区  
平成28年2月

# 七ヶ浜町



仙台市



菫蒲田海水浴場が平成29年4月に7年ぶりに本格再開しました。

菫蒲田海水浴場  
平成28年7月

# 現位置再建での復旧 そして復興へ



災害公営  
住宅  
整備事業

多賀城市では、被災者の居住意向や企業の再建意向と本市の立地環境を踏まえ、原則、現地での再建を基本としています。



都市型津波被害

建物が林立し、海が見えない工業地帯や住宅地を襲った津波



災害公営  
住宅  
整備事業

1階に駐車場や倉庫を配し、居住スペースを2階以上で計画。各棟をデッキでつなぎ、東日本大震災に伴う大津波と同クラスの津波にも対応できる施設となっています。

桜木地区



仙台市

# 多賀城市



東日本大震災による津波と同規模の津波が襲来しても浸水しないように造成し、製造業の復旧、復興を支えるとともに、災害時の防災拠点機能を備えた市街地整備を行っています。

八幡地区  
平成29年7月

# 東部被災地域の復興と 震災の教訓の発信



防災・減災の意識を高める場とするため、東日本大震災において児童や教職員、地域住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校を震災遺構として公開しています。

震災遺構仙台市立荒浜小学校



内陸側の既存集落および集団移転先の安全確保を図るため、津波の威力を減じる機能を持たせた、盛土高約6mのかさ上げ道路が建設されました。

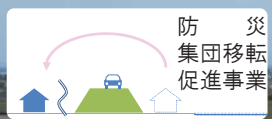
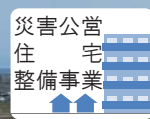
(令和元年11月 全線開通)



東部地域の13カ所に津波避難施設(タワー型6カ所、ビル型5カ所、津波避難屋外階段2カ所)を整備しました。

# 仙台市

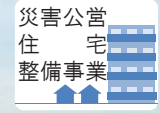




# 新たな暮らしのスタート

下増田地区で被災された方々の集団移転先である美田園北地区の復興まちづくり（防災集団移転団地、災害公営住宅）が完成しました。

美田園北地区 平成27年10月



## 本格化する産業再生： 復興市街地土地地区画整理事業

関上地区 令和2年3月



関上まちびらき 令和元年5月26日



関上地区は、江戸時代から栄える関上漁港があり、仙台近郊の漁港町として、職住近接したまちでした。震災後、既存市街地の現地再建及び水産業の復活を目指し、鋭意事業推進中です。

今回の津波被害で、私たちは物理的に防御できない津波の存在を知りました。このような大自然の力と向き合っていくためには、大自然の力を完全に防御するのではなく、災害時の被害をいかに最小限に食い止めるかという『減災』という考え方を基本に、まちづくり、地域づくりを進めていく必要があります。  
 岩沼市では、「愛と希望の復興」をビジョンとして掲げ、スピード感とコスト意識をもった震災復興に取り組みます。

# 空が広く 感じられるまち



県内初の大型内陸移転団地である玉浦西地区。沢山の住宅が建ち、新しい町並みが形成されています。



沢山の人が訪れた玉浦西まち開きの様子  
 平成27年7月19日



沿岸の6地区を1箇所に集約し、それぞれのコミュニティを保ちながらひとつの町を作り上げました。



津波よけ「千年希望の丘」  
 沿岸部に津波の力を減衰させる津波よけ「千年希望の丘」を整備し、津波後に取り組みとともに、後世の人々へ今回の津波被害の大きさや私たちの想いをつなぐために、「千年希望の丘」を含めたエリアをメモリアルパークとして整備しました。



# 岩沼市

# 伊達なわたりの復活を目指して



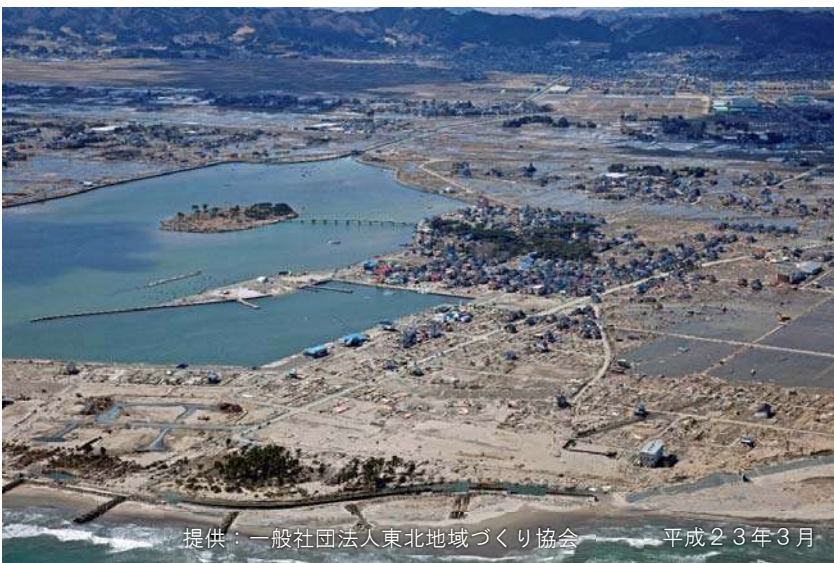
災害に強いまちづくりの構築を行うとともに、保健・福祉・教育の各分野における安心のまちづくりを推進し、生涯を託せる安全・安心のまちづくりの確立を目指します。

令和2年10月

提供：一般社団法人東北地域づくり協会



中小企業者の事業活動の早期再開を推進するため整備を進めてきた「亶理町荒浜にぎわい回廊商店街」が平成27年3月オープンしました。



提供：一般社団法人東北地域づくり協会

平成23年3月



仙台市

# 亶理町



提供：一般社団法人東北地域づくり協会

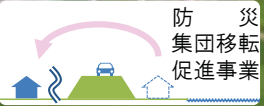
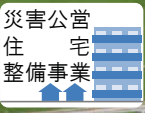
平成10年11月

# 内陸移転するJR常磐線新駅を 中心としたコンパクトシティ



分譲宅地での住宅建築が進み、平成28年12月にJR常磐線の運転が再開されました。

新山下駅周辺地区  
平成30年7月



防災拠点・山下地域交流センター（ひだまりホール）が完成しました。



新山下駅周辺地区  
平成29年11月

全ての世帯が入居を開始し、防災拠点・地域交流センター（ふるさとおもだか館）も完成しました。



新坂元駅周辺地区  
平成30年7月

分譲宅地は平成28年12月から引渡しが始まり、災害公営住宅も平成29年3月に全戸完成しました。



宮城病院周辺地区  
平成29年2月

## コンパクトシティ

山元町は、震災後、被災集落を核となる3つの新市街地へ集約し、うち2地区は内陸移転するJR常磐線2新駅を中心としたコンパクトで持続可能なまちづくりを目指す方針としました。



## 山元町

## 産業再生

町特産ホッキ貝の漁が再開  
かつての活気を取り戻すべく、被災した漁場からがれき撤去を継続している中で、ホッキ貝漁を試験的に再開しました。



いちごの一大産地として  
新たな一歩を踏み出しました  
東北でも有数のいちご産地の復活に向けて、計画する4ヶ所全てのいちご団地整備が完了しました。



# 宮城・東北へ たくさんのご支援 本当にありがとう



気仙沼市 / 南三陸町 / 石巻市 / 東松島市 / 女川町 / 仙台市 / 塩竈市 / 名取市 / 多賀城市  
岩沼市 / 亘理町 / 山元町 / 松島町 / 七ヶ浜町 / 利府町 / 白石市 / 角田市 / 登米市  
栗原市 / 大崎市 / 富谷市 / 蔵王町 / 七ヶ宿町 / 大河原町 / 村田町 / 柴田町  
川崎町 / 丸森町 / 大和町 / 大郷町 / 大衡村 / 色麻町 / 加美町 / 涌谷町 / 美里町

 宮城県  
Miyagi Prefectural Government

復興に関する情報をWEBで発信してます



いまを発信！復興みやぎ

検索

みやぎ復興情報ポータルサイト  
<http://www.fukkomiyaagi.jp/>

